

やっぱり 看護が好き

鼎●談

ベテラン・ナースのセカンドキャリア
踏み出そう! 第二の看護人生

Interview ● これからの看護

見送った一人ひとりの物語に
背中を押されて

おすすめ研修

高齢者施設における看護職員の役割

施設セミナー

看護部長で組織は変わる!
前進しつづける職場から

秋山 正子さん 株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション代表取締役・統括所長

見送った一人ひとりの物語に 背中を押されて

「がんであっても、重篤な状態でも、住み慣れた我が家で家族と一緒に暮らせるように支えたい」という秋山正子さん。父親の死をきっかけに看護の道を志ざし、がんを発症した姉の在宅での看護をきっかけに訪問看護の道に進んだのは42歳のとき。以来、仲間や活動の場を増やしながらい在宅ケアに取り組んできました。現在も地域の生活者の一人として、後に続く人たちを育てながら、看護というスキルを活かした地域貢献を継続中です。

1992年に訪問看護を開始して以降、2001年に在宅ケアの要として「ケアーズ白十字訪問看護ステーション」を設立。06年には、地域に貢献できるボランティアを養成する「NPO白十字在宅ボランティアの会」を発足。そして11年には地域住民の健康を支援する「暮らしの保健室」を開設した秋山さん。地域での活躍は途切れることはありません。

その原動力をうかがうと、「訪問看護を実践する中で見送った、一人ひとりの物語に背中を押されて、続けてこられたのです。ひとつひとつの人生の最後の時間に立ち会うことができるのはとても素敵なこと。そこで経験したことを、今度は若い人たちに語り継いで分かち合いたい」といいます。

秋山さんが体験されたたくさんの物語の中から、印象深かった一つの物語をお聞きました。それは長年認知症を患っていた高齢女性の在宅ケアをしていたときのことです。治療にあたっていた医師は、亡くなる前にそれまで以上の点滴投与を試みましたが、女性は嫌がって受け付けず、点滴を外すことになったそうです。そこで秋山さんは、「会いたい人に会わせてあげたらどうですか」と娘さんに提案しました。近所の人などが会いに来ると、女性は目を開けたり、頷いたりしているように見えました。あるとき、「こういう人が来ているけれど会いたい？」と娘さんが確認したところ、一人だけ頷かない方がいました。娘さんは思い当たることがあったので、具合が悪いという理由でそのまま帰っていたのだそうです。そうして1週間後、女性は亡くなりました。

「認知症で、いろいろな人に迷惑をかけたのかもしれません。でも、自らの意思を保ち、過剰な医療を必要としない自然な命の終わり方を私たちに教えてくれました。娘さんも『最期に一番大きな仕事をして逝ったわ』と言われ、忘れられない幕引きでした」

秋山さんは「地域に暮らす人々の保健や疾病予防にも目を向けたい」といいます。それは訪問看護から時間を廻行したときに思い至った在宅ケアの考え方です。「ボランティアなど健康を

考える人を養成しながら、一住民として一緒に街づくりに参加していく。介護やケアの方法、医師との相談の仕方など、地域住民が日常的に抱える健康についての問題を専門家につなげる、あるいは一緒に悩み、考えて、伴走する。その役割を担うのに看護師ほど適した職業はありません。看護師が在宅ケアの窓口になれることを広く知ってほしいですし、そのための土壌を、これからもつくっていきたいと思います」

それには多くの人の力が必要。秋山さん自身、子育てをしながら働き続け、病院での看護から在宅看護に飛び込んだ一人です。「子どもが小さいときは、熱を出して呼び出しがかかるたびに、周囲の人に助けってもらいました。回り道と思ったこともあります。たとえば今、休職中の人でも、家庭での生活経験はすべて訪問看護に活きます。不安はあるかもしれませんが、是非チャレンジしてほしいですね」



プロフィール

秋山 正子（あきやま まさこ）

1950年秋田県生まれ。73年聖路加看護大学卒業後、産婦人科病棟、看護教員などを経て、92年東京で訪問看護を始め、2001年にケアーズ白十字訪問看護ステーションを設立。11年に新宿区内に「暮らしの保健室」を開設。

第2四半期おすすめ研修 ● 高齢者福祉施設の看護

高齢者施設における看護職員の役割

●対象者…都内在住で就業を希望する離職中の看護職(要ナースバンク登録)、都内の施設に勤務する看護職

●実施日時…2012年6月20日(水) 16時30分～18時30分
●定員…40人
●講師…鳥海 房枝先生(元清水坂あじさい荘副施設長)



【研修の中で鳥海先生が紹介された書籍・研究の一部】

『介護施設におけるターミナルケア——暮らしの場で看取る意味』、『高齢者施設における看護師の役割 医療と介護を連携する統合力』いずれも雲母書房より刊行。「高齢者施設における転倒による大腿骨頸部骨折予防検討に関する研究」平成22年度厚生労働省 老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分) http://meiaihelp.up.seesaa.net/pdf01/repo_k201103.pdf

講師の鳥海先生は特別養護老人ホームでのご自身の経験から、たくさんのエピソードを織り交ぜて講義してくださいました。定員の倍以上の応募があった人気の研修です。

高齢者福祉施設の看護では、老いの先に死が見え始めたころの利用者さんと出会います。そこで、まず重要なベースになるのが、「老い」とそれに続く「病」「死」を肯定的に捉えることです。医療機関とは違い施設は暮らしの場、しかも利用者さんが高齢であることから、「未来のために今日を我慢させない」という、医療とは違った考え方が必要になります。そんな介護の場で看護職に求められるの

は、医療技術に加え、介護職に安心して働いてもらうために、医療の対象になる状態か否かを適切に判断して助言する、縁の下の力持ちの役割です。

医師が常駐していることの少ない介護の場にあつて、看護職は、その資質が施設の質を決めると言っても過言でないほど重要なポストです。そして、たくさんの方の能力と創造力を活かせる、これからの領域。鳥海先生は研修の最後に、「現在離職している人にもできます。必ず復職してくださいね」と呼びかけました。本研修は、9月12日、12月14日にも開催を予定しています。

長寿ストーリー 最新事情

老化を防止し長寿を保つというサーチュイン遺伝子の話題が、盛んに報道されたのは昨年のことです。この遺伝子は飢餓状態により活性化されるので、30%のカロリー制限が推奨されました。摂取するだけで(つまりカロリー制限なしで、この遺伝子を活性化するとされ、欧米ではすでに発売されていたレスベラトロール(赤ブドウの皮などに含まれるポリフェノールの一種)のサプリメントが国内でも発売されました。海外では、医薬品化を目論み、製薬会社を買収して傘下に収めた製薬企業もありました。

ところがその後、ストーリーの基盤となった実験が厳密さを欠いていることが指摘され、精度を上げて追試したところ、サーチュイン遺伝子の活性化と長寿に明確な因果関係はないことが明らかになったというのです。さらに、レスベラトロールには、高脂肪食や加齢による代謝ダメージから体を守る働きはあるものの、サーチュイン遺伝子活性化効果はないことも明らかに。うーん…。しかし、30%のカロリー制限に、老化防止・長寿効果があることに疑問の余地はないそう。今のところ、間違はなく推奨されるのは、わが国にも古くからある食養生のようです。

【参考文献】Burnett C et al., Nature, 477(7365):482-5 (2011)



河合 由美子さん

(ヤシマ株式会社介護付有料老人ホーム「サンビレッジ三鷹」)

小田 三枝子さん

(フォースリーフ株式会社デイスサービス「リーフ・オアシス」)

菊池 美佐子所長 〈司会〉

(東京都ナースプラザ)

これまでの看護経験を、余裕を持った働き方の中で活かす。とても素敵なことだと思いませんか。「やっぱり看護が好き」なベテラン・ナースのあなた、ぜひ本気で復帰を考えてください。あなたを必要としている場が必ずあります。

人生の「くぎり」としての退職

菊池 今日は、長年勤めて退職され、その後セカンドキャリアとして復帰された、ベテラン・ナースのお二人にお出でいただきました。お二方の退職までのご経験はプロフィールを参照いただきたいと思います。

河合さんがお辞めになったのはどんなご事情だったのですか。定年退職だったのでしょうか。

河合 駿河台日本大学病院の定年は65歳ですが、60歳で辞めましたので、定年退職ではありません。退職の事情は、まず私自身、年相応に目や頭の回転や記憶力がだんだん弱ってきていることを実感していたことです。また、母の具合が悪かったの、何かあったときすぐ動ける状態になりたかったということがあります。職場では、若い人たちが認定・専門とキャリアを積みまれているので、後進に道を譲るという気持ちもありました。それらいろいろなことが重なって、60歳が一つの区切りという気持ちで退職しました。

鼎談

やっぱり看護が好き

ベテラン・ナースのセカンドキャリア踏み出そう！ 第二の看護人生

菊池 一つの職場で30年というのはすごいですね。小田さんも、国分寺市医師会の訪問看護ステーションに通算18年間勤めていらつしました。どのような事情でお辞めになったのですか。

小田 退職の一番大きな理由は、一番下の子どもの大学卒業と翌春の就職が決まったことです。もう辞めても大丈夫かなということがありました。また、高齢で二人だけで暮らしている両親が、ある程度元氣なうちに手伝いをしてあげたいという気持ちもありました。一番下は男の子ですが、上二人の女の子は私と同じように看護師をしていますので、気持ちをわかってくれて、「お母さん、もういいよ」と後押ししてくれたこともあって、辞めることにしました。

菊池 お二人とも、ライフイベントに絡んだご事情もあって、一つの「くぎり」としての退職だったのですね。

やっぱり看護が好き

菊池 お休みされていた1年間は どうしてましたか。どんなことを思ってたのでしょうか。

河合 母の看護とその後の整理で半年近くかかりました。あとの半年は全然わからなかった税金や社会保険について、事務所に通って教えてもらったり手続きをしたり、社会勉強をしていました。

また、旅行もしました。

でも、しばらくすると、自分の好きなことをしているにもかかわらず、社会から取り残されていくようなあせりと、健康な自分が何となく、ここでこんなことをしていいの、そんな引け目みたいなものを感じるようになってきました。そこで、1週間ほど被災地にボランティアに行きました。

菊池 東日本大震災の被災地に行かれたのですか。

河合 はい。岩手県に、看護師としてではなく一般のボランティアとして登録して行きました。

遠野にあるセンターから海岸線の被災地に、チームをつくって毎日バスで通ったのですが、チームの中のある方が、私が看護師ということを知って、「チームの中に看護師さんが一人いるだけで、私たちはすごく安心なんです」と言ってくれました。その言葉を聞いて、戻ってから看護師の資格を活かせる場所で働きたいな、と思いました。辞めたときは、そんな気持ちになるとは思わなかったのです。だから、ちよつと不思議でした。



プロフィール

河合由美子さん

1972年福井赤十字看護専門学校卒業。同年福井赤十字病院に勤務。74年もっと広く看護を学ぶことを志し、上京して慶應大学病院内科婦人科病棟に入職。79年都合により退職。80年駿河台日本大学病院に勤務。循環器科病棟を皮切りに、救命救急センター、婦人科外来・病棟、小児科外来・病棟など、多くの部署を経験する。2011年同大学病院を退職。12年4月より介護付有料老人ホーム「サンビレッジ三鷹」に勤務。



河合さん

菊池 被災地に、ボランティアに行ったことが復帰のきっかけになった、ということになりますか。

河合 そこで改めて、何かのかたちで社会とつながりを持てる場所になりたいと、自分が思っていることを確認したのはたしかです。



小田さん

なんというか…ウズウズしてくるんですね。(笑)

小田 その気持ちはとてもよくわかります。
菊池 小田さんも退職前には18年間続けて働いていらつしやいました。お休みされた1年間はどのようにしたか。

小田 私は、辞めたときも、もうこれで働かないという気持ちではなかったのです。フルタイムで働くことに区切りをつけるという意味での退職でした。そして1年たったころ、河合さんと同じようにウズウズしてきたんですね。(笑)

休んでいた1年間は、何もしていないのに、なぜこんなに時間が過ぎていくのか、すごく時間がもつたないと思いました。私は、働いているときのほうが時間をうまく使えるようです。

菊池 仕事モードが頭の中にあることで、生活全体をマネジメントする能力が、よりよく発揮されるということなのでしょうね。

長く働いていると、ちよと休みたくなる、でも、1年くらい休むとまた働きたくなる、お二人とも、「やっぱり看護が好き」なんですね。(笑)

現在の職場を選んだ理由



菊池所長

菊池 小田さんは現在、通所介護施設(以下「デイサービス」と略記)にお勤めですが、選ばれた理由はどんなところにある

りますか。

小田 訪問看護ステーションに勤めていたときに考えたことが選択のベースになっていると思います。重症の気切をされている方がいたのですが、吸引の問題がありますから、看ているご家族の方は家を空けることができない。どうしても、ということきはショートステイを使うことになるのですが、安心して預けられる施設がなかなかないということがありました。そういったご家族の方々の負担をカバーしてあげられたら、と常々思っていたのです。

菊池 それが実現できたということですね。

小田 はい。現在勤めている「オアシス」は、受け入れ人数が10人と小規模ですから、看護師の雇用は義務ではないのです。でも、重症の方も安心して預けられるようにという施設長の思いがあつて、看護師を置いています。それで、気切の方、胃瘻の方、ストーマの方を受け入れています。こういった重症の方を受け入れているところは、立川市内では、他にはないと思います。

また、大規模のデイサービスでは、画一的なプログラムを全員で行うことが多いようで、利用者の方が幼稚なイメージをいやがつて、通うのをやめてしまふという話を聞くことがあります。そうした方たちを受け入れたいと思つていますし、現に何名か通所されています。「オアシス」では、ある程度の大枠の中で、自由に行うことを選択していただくことができます。小規模な分きめ細やかに目を配ることができ、アットホームです。

菊池 河合さんが、介護付き有料老人ホーム(以下「ホーム」)を選んだのは、なぜですか。

河合 今まで全然行つたことのない介護の世界に身を置きたいと思つきました。その中で、デイサービスかホームか特別養護老人ホーム(以下「特養」)か、と考えたときに、特養は体力という点で年齢的に厳しいと思つきました。デイサービスかホームかとなったときに、デイサービスは毎日のように利用される方が違う。そうすると多くの人たちの顔と名前と状態と状況を覚えていなければなりません。その点、ホームは利用者さんが

長く同じ部屋に暮らしていらつしやるわけですから、覚えられると思つきました。そうした条件は第一に考えました。

菊池 河合さんは前職とは全く異なつた分野に進まれたわけですが、受け入れられた施設側の心遣いを感じるような場面はありましたか。

河合 病院と施設における看護師の役割の違いを教えていただいたりしています。その役割を果たすには、急性期を扱う病院とは違つた考え方のベースが必要で、これから学んでいかなければならないことが多いと思つています。

菊池 ところで、就職先を探されたとき、ナースバンクを活用されましたか。

小田 私は、ハローワークと同時に近くにある立川のナースバンクに登録しました。そして二度目に行つたとき、「今日募集がありました。いかがですか」とご提案いただいたて、その募集に乗つて現在があります。とてもありがたかつたと思つています。

河合 今回の就職はハローワークだったので、私も登録していました。

余裕が持てる働き方を選択して

菊池 お二人とも、ずっとフルタイムで走つてこられたわけですが、復帰にあつて働く時間数は考えましたか。

小田 はい。フルタイムで働くなら、なぜ辞めたのか、ということになつてしまひますので。週3日か4日と考えて探しました。現在は水・木・金の週3日です。

河合 私も、大学病院のときのよ

うに毎日仕事に追い立てられて、夢にまで見るという生活はしんどいなと思つたので、週3日あるいは4日のパートにしたいと思ひ、そういう条件で探しました。いまはパートで火・木・土の週3日、月に12〜13日働いています。

菊池 働き方が変わったことに

小田三枝子さん

1975年静岡赤十字高等看護学院卒業。同年より静岡赤十字病院脳外科に1年間勤務。77年山梨県立高等看護学院保健婦学科卒業。同年、病院での訪問看護を志し訪問看護室を開設していた日本大学医学部附属橋橋病院に入職。循環器内科をはじめ、小児内科、小児外科などで前段階の勉強を積み約3年間勤務するが、母の胃がん看護のため退職し帰省。病状が落ち着いたころは地元、山梨県相互病院に勤務。83年結婚に伴い退職して上京。3子に恵まれ、子育てに専念。第3子が3歳になった92年より国分寺市医師会訪問看護ステーションにパートタイムで入職。97年からは正職員としてフルタイムで勤務。98年ケアマネジャー資格取得。2010年12月国分寺市医師会訪問看護ステーションを退職。11年12月より「オアシス」リフオアシス(本文中では「オアシス」と略記)に勤務。

菊池美佐子所長

1970年福島県立高等看護学校卒業。同年4月福島県立医科大学病院勤務。71年7月東京都に入職し都立病院看護師となる。同院看護部長、看護科長を経て2004年看護部長。07年5月東京都を退職。同年6月東京都保健医療公社多摩南部地域病院看護部長就任。10年3月に同公社を退任し、同年4月より東京都ナースプラザ所長。



よつて、ご自身の中で変わったことは何かありませんか。

小田 気持ちに余裕ができたことと、自分の好きなことができるようになったことです。ずっと興味があったパソコン教室にも通いましたし、好きな海外旅行にも長い期間行けるようになりました。仕事を始めてからは、両親の面倒をみるのも、姉・弟と協力してやっており、十分なことができています。時間も、また上手に活用できるようになりました。

河合 いまの働き方では、ちよつと物足りないかなと思うときもありますが、明日も明後日も仕事、休みのときも、ここでしっかり休まなければと、追い立てられるような気持ちになることはなくなつて、明日働けば次の日は休みだからとちよつと余裕があります。ですから、仕事をしていても眉間に縦ジワが寄ることがなくなりました。(笑)

資格と経験を活かして

菊池 小田さんは、訪問看護ステーションからデイサービスと、関連のある方向に進まれました。これまでの経験を活かすことはできていますか。

小田 そうですね、訪問看護の経験に加えて、ケアマネジャーとしての経験も、聞き取りから家庭での状況を推し量るのに活かしていると思います。デイサービスでは6〜8時間、利用者の方の動きを見ることができずから、この方が自宅でどんなふう暮らしているのかを推察しながら見えています。

菊池 河合さんは急性期を扱う大学病院からホームと、未経験の分野を選ばれたわけですが、その中でこれまでの経験が活かしたということはありますか。

河合 介護の世界に入つてまだ2〜3カ月しか経っていませんので勉強中ですが、病院で培った観察の目は活かしているのかな、と思います。たとえ



左から：小田さん、菊池所長、河合さん

ば、微熱があつても元気であれば入浴を許可するといった判断、そして医師への連絡にも役立っていると思います。また、夜間は介護スタッフだけのポイントで指導しています。介護スタッフとは、よくコミュニケーションをとるようして、いつも入居者の方の状態について話をしています。ただ、それがどれほど役に立っているか、まだ仕事を始めて短いこともあつて、実感がありません。

菊池 それは大きな役割ですよ。それぞれの入居者の方の状態に合わせて、ここを見ておいて、というのは、看護職としての専門性が発揮できているところだろうと思います。

必ず、あなたを必要としている場があります

菊池 本誌は、これからセカンドキャリアを目指そうというベテラン・ナースの方も、きつと読んでく

ださつていると思います。復帰を迷つている人たちにアドバイスをお願いします。

河合 私自身も、キャリアの足りない部分があります。ですから面接のときに、「どんな業務がありますか。私でもできそうですか」としつこく聞きました。それでも、できるだろうか？ と心配でした。でも、できます。(笑)

いま、まだ介護がわからない状況の中、手探りでやっています。でも、仕事をしながらでも知識を得ることはできると思うのです。

小田 そうですね。必要とされているところで、自分ができることをしていけばいいのだと思います。必要としてくれるところがあるということ、すごく幸せなことだと思います。その中で自分が力を出していければいいと思っています。

河合 私も、いまの環境にとつても満足しています。介護の世界は本当に人手が足りません。こんなに就職難だと言いながら、なぜみんな来ないのだろうと思うぐらい足りない状態です。できることは必ずありますので、たくさんの方に復帰していただきたいと思っています。

小田 そのまま家にこもつてしまふのは、もったいないですよ。

菊池 昨年の「第16回看護サミット福岡'11」で、日本看護協会の坂本会長が、「看護職は70歳過ぎまで働いてください」と話されました。(笑)

お二人の話をお聞きしていると、それは決して出来ないことではないと思えてきます。

余裕を持つて働き、かつ資格・経験を活かすことができるというのは素敵なことです。今後、ぜひ元気で働き続けていただきたいと思っています。

本日はありがとうございました。



看護部長で組織は変わる！ —— 前進しつづける職場から ——

● 講師 ●

服部 玲子先生

医療法人社団魚橋会魚橋病院

副院長兼看護部長

日本看護協会認定

看護管理者会 会長

施設セミナーは、看護職の定着対策を支援するために、医療施設等の管理者を対象として年2回開催しています。本年度第1回目のセミナーが、ナースプラザ（飯田橋）で7月11日（水）に開催されました。今回のセミナーは、菊池所長が昨年神戸で聞いた服部先生の講演に感動し、帰京後すぐに服部先生ご本人と直接交渉して実現に至ったという経緯があります。現場で日夜奮闘されている看護部長さんにぜひ聞いていただきたい、元気をお届けするセミナーです。



現在、服部先生が勤務する魚橋病院は、兵庫県相生市の閑静な田園風景の中に建つ、精神科を中心とした、地域に根差した個人病院です。三菱神戸病院で看護部長をされていた服部先生は、院長に請われ、魚橋病院に看護部長として就任することになります。目指すのは、自身が大切にしてきた看護を、この病院で実現すること。

しかし着任してみると、目を疑うような看護職や病院内部の実態に次々直面します。服部先生は怯みませんでした。管理当直の導入、サービスクの撤廃、キャリア手帳の記載など、看護管理の考え方に基づいた策を次々と打ち出します。その実践によって、看護職の意識は刷新されていきます。さらに、院内の組織図の明確化により、情報は副院長である服部先生のところへ集まるようになります。

そして現在、看護職の間には組織や役割を明確にして承認する風潮が生まれ、委員会活動や各セクションでの目標管理が活性化しています。また、患者さんと

家族の関係に、積極的にしかもオープンに関わっていくという動きが見られるなど、望ましい変化が現れてきました。組織が目指す将来像として、「精神科病院のNo.1マクネットホスピタル（患者さんにとって頼りになり、職員にとっても働きやすい、人を引きつける魅力がある病院）」を掲げ、一丸となつて前進しています。

このセミナーでは、服部先生が実際に遭遇した状況と施した対策を具体的に聞くことができます。そこからは、自身のキャリアを危険にさらさない賢さ、モチベーションを維持するための柔軟な強さについても学ぶことができます。看護職の定着はその病院のベース。「看護部長の仕事は看護師をケアすること」という考えに基づいた服部先生の改革は、これからもつづきます。本セミナーは第2回目の開催が立川で予定されています。

施設セミナー 第2回目のご案内

開催日時

平成24年10月25日（木）13:30～16:30

対象

管理的立場にある方または予定の方（事務職含む）50名

会場

東京都多摩消費生活センター
（JR立川駅南口より徒歩10分）

● 申込：FAXまたはメール

（申込用紙は東京都ナースプラザホームページに掲載）

● 問合せ先：TEL 03-3359-3388
（担当：栗原）

● 応募メ切：10月19日（金）

● 参加費：無料

● 主催：東京都ナースプラザ
ナースバンク係

平成24年度

**ふれあいナースバンク
「再就職相談会」**

開催予定

- 9月 7日（金） 東京都ナースプラザ（飯田橋）
- 9月12日（水） 京王プラザホテル八王子
- 11月 9日（金） 東京都ナースプラザ（飯田橋）
- 11月15日（木） ナースバンク立川
- 2月 6日（水） ナースバンク立川



ナースバンクの求人情報から 「乳児院」の紹介



ナースバンクでは、常時900施設（約4,000人）の求人があり、登録している求職者へ情報提供を行っています。主な求人施設は病院等医療機関ですが、他にも介護老人保健施設や訪問看護ステーション、保育園や乳児院等の求人もあります。

そこで、今回は乳児院について、写真入りで紹介いたします。乳児院は、保護者のいない乳幼児および保護者による養育等が困難な乳幼児を養育しています。

都内に10カ所あり、入所している子どもたちの成長を含めた健康を守る役割を看護職が担っています。子どもたちとの関わりでとても大切なのは、他職種とのチームワークや情報の共有です。純真な笑顔あふれる職場では、子育ての経験が十分に活用できます（掲載写真参照）。再就職先の一つとして考えてみてください。

他にも多くの求人施設情報があります。どうぞナースバンクまでご相談ください。



●都内で10番目に多い街路樹● ヤマモモ

表紙イラストの「ヤマモモ」は、こんな木です。

ヤマモモはヤマモモ科の常緑高木で、関東以南の暖地に自生しています。雌雄異株の風媒花で、雌株は初夏に径1~2センチの深紅の可憐な実をつけます。甘酸っぱい実は生食でき、ジュースやジャムにも加工されます。樹皮は楊梅皮という生薬で、タンニンに富むので止瀉作用があります。根には空気中の窒素を固定する放線菌の一種フランキア属を共生させており、痩せた土地でも育ち暑さにも強いという特性があります。常緑のヤマモモは、他の街路樹が葉を落とす季節にも、こんもりとした緑を保っています。

看護職の就職戦線は売り手市場、就職難で苦しむ他業種の求職者から見ればうらやましいかぎりではない。しかし、売り手市場は、安易な転職に結びついてはいないだろうか。こんなときにこそ、自分自身の看護に対する思いを大切に、キャリアを活かせる職場選びをしてほしいと思う。

(M・K)

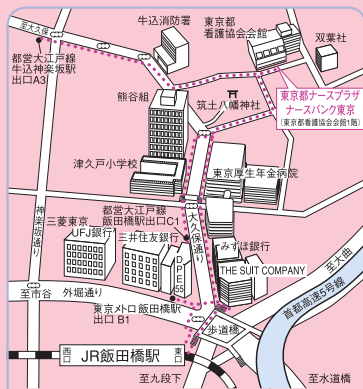
つれづれ……

中央ナースセンターから「はたさばナースのはたらくサポートブック」が刊行された。就業・再就業を目指す看護職のための、働き続けられる職場選びのサポートブックである。

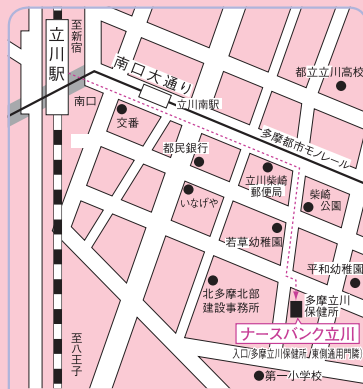
目次を見てみると、1.求人情報読解マニュアル 2.職場の制度と法律を知ろう 3.就職活動実践マニュアル 4.キャリアアップの道 5.ナースセンターを活用しようという構成になっている。とてもコンパクトでわかりやすい。なかでもナースセンターについては、なかなか周知されない実態があり、この冊子を手に取り入れた方は是非読んでいただきたい。

看護職の就職戦線は売り手市場、就職難で苦しむ他業種の求職者から見ればうらやましいかぎりではない。しかし、売り手市場は、安易な転職に結びついてはいないだろうか。こんなときにこそ、自分自身の看護に対する思いを大切に、キャリアを活かせる職場選びをしてほしいと思う。

(M・K)



ナースバンク東京 TEL03-3359-3388



ナースバンク立川 TEL042-529-7077

ナースバンク東京

- JR中央・総武線 飯田橋駅東口から徒歩7分
- 東京メトロ東西線・有楽町線・南北線 飯田橋駅 出口B1から徒歩6分
- 都営大江戸線 飯田橋駅 出口C1から徒歩5分
- 都営大江戸線 牛込神楽坂駅 出口A3から徒歩5分

ナースバンク立川

- JR中央線・青梅線・南武線 立川駅南口から徒歩10分
- 多摩都市モノレール線 立川南駅から徒歩8分

ACCESS

東京都ナースプラザ

検索

- ホームページ: <https://www.np-tokyo.jp/>
- Eメール: np@np-tokyo.jp